



11/  
18~19 晩秋のへんろ道ウォーク楽しむ  
「トレッキング・ザ・空海あいなん」

11月18日(土)、19日(日)に「トレッキング・ザ・空海あいなん」が開催され、2日間で約350人が参加して晩秋のへんろ道ウォークを楽しみました。

18日はあいにくの雨模様。参加者は雨で滑りやすくなった松尾峠を越え、地元有志のお接待に顔をほころばせました。19日は天気が回復し、参加者は軽やかに柏坂を登りました。

トレッキング終了後には御荘文化センターで夏井いつきさんの句会ライブが行われ、宮下嘉納子さんの「風渡るカーブミラーの底の冬」が会場の支持を得て最優秀作品に選ばれました。

11/  
18~19 なーしくん大健闘！  
ゆるキャラグランプリ 2017  
(ご当地キャラ部門) で全国 10 位

愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」がエントリーしていた『ゆるキャラグランプリ 2017』の決選投票大会が11月18日(土)、19日(日)に三重県桑名市で開催されました。我らが「なーしくん」は、皆さまのおかげで210,260票を獲得し、企業部門と合わせて計1,158体がエントリーした中、ご当地キャラクター部門で全国10位という堂々たる結果を残すことができました。

なーしくんは、「皆さまのおかげやなーし。これからも大好きな愛南町の魅力を多くの人にお伝えできるといいなーし」とコメントしました。



トップ10入りした全国のゆるキャラたち

あんなことや、  
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.86  
「おめでタイ」に「あやかりタイ」



帯を締めたアカオビハナダイ

年の初めには、その年の干支や縁起の良い名前の生き物を紹介している。今年は戌年だが、犬にちなんだ海の生き物は少ないので、おめでたい名前のアカオビハナダイを紹介したい。

タイと名前が付いているが、タイの仲間ではない。日本人は味が良くて色も美しいタイが大好きである。また、「おめでタイ」の言葉から、結婚式などの祝いの席でも出されることも多い。このタイにあやかろうと、魚の名前を付けるときには、タイがよく使われてきた。いわゆる「あやかりタイ」である。ちなみに愛南町で養殖されているタイは、本物のタイという意味のマダイ(真鯛)である。

アカオビハナダイの名前には、「赤い帯を締めた、花のように美しいタイ」という意味がある。赤い帯、花、鯛とおめでたい物を三つもまとったアカオビハナダイにあやかって、今年も良い年になりますように。

(撮影地: 瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

## 11/21 将来の進路の選択肢として 自衛隊の任務を説明

高校生に自衛隊の業務内容を知ってもらい、将来の進路の選択肢の一つとして考えてもらおうと、自衛隊愛媛地方協力本部宇和島地域事務所による説明会が南宇和高校で開催されました。

この日は、同校OBで海上自衛隊一等海尉の木原正裕<sup>まさひろ</sup>さんから、海外にまでおよぶ幅広い自衛隊の活動や、仕事のやりがいなどについて話があり、高校生は熱心に耳を傾けました。木原さんは、「自衛隊内にはさまざまな職種があり、多様性がある。将来の選択肢として、こういう仕事があるということを知ってもらえたら」と説明しました。



## 12/5 みぞれの中 厳かに花とり踊りを披露

本年度の「正木の花とり踊り」（正木の花とり踊り保存会）は、12月5日朝9時から始まりました。この踊りは、増田のはなとりおどりと同じく、愛媛県の無形民俗文化財に指定されています。例年、旧暦10月18日に合わせて行われており、今年は時折みぞれが降る中で開催されました。

当日は、篠川で身を清めた後、歓喜光寺権現堂、歓喜光寺境内、そして旧庄屋蕨岡家に自生している愛南町指定天然記念物「戸たてずの楠」の下で踊り、一連の行事を無事に終えました。



## 12/5 姉妹で受賞 「心の輪を広げる体験作文」

障がい者に対する県民の理解促進を図ろうと愛媛県が実施した平成29年度「心の輪を広げる体験作文」の受賞式が松前総合文化センターで行われ、小学生の部で最優秀賞を受賞した高平こころさん（城辺小5年）が表彰を受けました。

本町からは高平さんの姉、高平なごみさん（城辺中3年）も優秀賞を受賞しており、姉妹揃っての受賞となりました。

なごみさんは「今回の作文をきっかけに今後、障がいのある人たちともっと交流していきたい」と話し、こころさんは「障がいを持った人だけでなく、みんなに笑顔で接したい」と笑顔を見せました。



高平こころさん（左）と高平なごみさん

## 12/12 「愛南かき」にブランド統一 牡蠣の出荷が開始

愛南町の冬の味覚を代表する牡蠣の出荷が始まりました。生産者の若本裕二<sup>ゆうじ</sup>さん（赤水）は今年の牡蠣について、「去年よりも身の太りが良い。このまま順調に育ってくれたら」と話しました。

愛南漁協では、平成29年4月の漁協御荘支所と南内海支所の統合を機に、これまでに複数あった牡蠣のブランドを「愛南かき」に一本化し、販売を行っていくこととしました。



牡蠣の殻をむく若本裕二<sup>ゆうじ</sup>さん。  
3月中旬頃まで出荷が続きます